

2025年度 学校評価結果について

学校法人旭川カトリック学園 旭川聖母幼稚園

1、本園の教育目標

キリスト教の精神と理念に基づき、「おいのり」しんせつ」「がまん」の心を育て他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育みます。

幼児の主体的な活動としての遊びを十分に確保し周りの世界に興味を持ち探索し思考する過程の中で基本的習慣を身につけるとともに集団生活のルールや友達とのかかわりを通して感謝の心を育みます。

また、幼児と教師の信頼関係を大切に一人ひとりに寄り添った心が通う幼児教育を目指します。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

さまざまなニーズを抱える子どもが増えています。今日、保護者からは質の高い保育を実践することが求められ、私たち保育者はその思いに応えるべく日常から積極的に各種研修に参加し、学習の機会を増やすことで個々の能力向上に努め幼児一人ひとりに寄り添った保育を心がけます。今年も自然体験学習に積極的に取り組みます。毎週火曜日に「神様のお話」毎月の「お誕生会」にはお祈りと祝福をしてくださる神父とのふれあいを通して神様とのかかわりを大切にする心を育てていきます。

3、評価項目の達成お及び取り組み状況

評価項目・目標	取り組み状況
保育の計画性 保育内容及び指導の在り方を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	教育要領に基づき保育者それぞれが日常の幼児とのかかわりの中から実態に即したものとなる保育の計画を作成しています。
保育の在り方 幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	今年度は安全面に気を付け過ぎてダイナミックに遊ぶことが少なかったです。保育のマンネリ化や新しいことにチャレンジする姿勢が希薄になってきているように感じます。何でも先々に配慮しすぎることなくこどもを信じて、自ら考え楽しく遊ぶ方法を見つけられるように言葉を掛けたり、保育の工夫が必要だと思います。

保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等の資質向上を図る。	どの職員も子ども一人ひとりに愛情を持って接し、きめの細かい対応が取れていると感じます。 保育者間の連携では行事等の進め方で共有が出来ていない場面もあり、もっと密に情報共有をしないとと思っています。
保護者への対応及び家庭との連携 園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応を図る。	ブログ、園だより、クラスだより、週予定、SNS などを通し園行事・園からの連絡事項、園における幼児の様子をお知らせしています。 また、個人的な連絡などについても電話やラインを導入し随時対応しております。これからは園と保護者とのコミュニケーションを大切にし、保護者からの要望に寄り添った対応を心掛けます。外部からの苦情については迅速に園長が相手の話を十分に聞き、双方が納得出来るような対応に努めました。
地域社会との連携 地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。	近くの朝日小学校とは、行事予定表、毎月の便り、参観日への参加などを心掛けています。園の施設開放では毎週一回の放課後の体操教室、週二回の学習教室に近所の小学生も参加しております。 「クリーン大作戦」として地域のゴミ拾いを保護者と一緒に行い、地域の清掃に努めました。 今年は小学校休校時に児童の預かり、未就園児親子教室の時の園バスでの送迎など子育て支援にも力を入れました。
研修と研究 研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。	オンライン・ハイブリット形式の研修会が多く、参加しやすくなりました。これからは各自の専門性を高める為の目標や課題を明確にし、一人ひとり積極的に取り組む姿勢が必要だと思っています。
情報公開 保育の現状や自己採点・評価の結果等を個人情報の保護に留意しつつ積極的に園だより等で公開する努力をする。	HP、園だより、クラスだより、週案の発行とInstagram、ブログによる配信で幼児たちの様子を伝えています。学校評価の結果も HP にてご覧ください。現在、園だより、クラスだよりは紙印刷での配布にしておりますが、配布漏れの防止やペーパーレス化に伴い、徐々に PC やスマホでの配信に移行していきます。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

日常の保育において幼児の特性をしっかりと把握し一人ひとりに寄り添ったきめの細かい保育を目標としました。多様なニーズの幼児との関わりの中で保育者はそれぞれが自分の役割を認識し幼児との信頼関係を構築しつつ組織的な対応が出来ていると思います。今後も保育者と保護者がお互いの立場で幼児の記憶に残る体験をさせてあげられるような協力関係でありたいと思います。

園に対する保護者からの評価は保育、行事、園からのお知らせなどに対し、概ね『満足』の評価をいただきました。これに満足せず今後も職員一同、取り組んで行きたいと思っています。

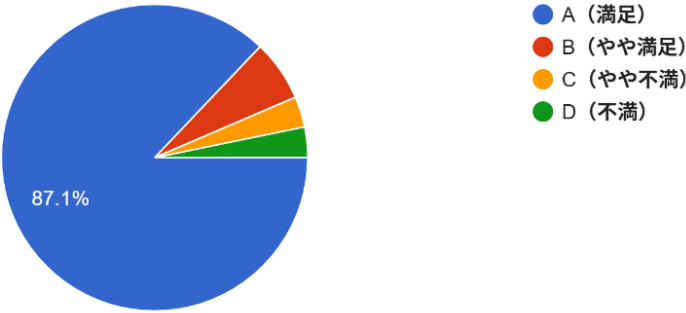
5、今後取り組むべき課題

安全管理	緊急時の安全についてのマニュアルと組織的な対応により問題点の整理検討を図り災害や感染症からの幼児の安全確保に努めます。防犯の面から3月に自動ロック機能付きのドアに変更いたしました。また、登降園アプリの導入により園児の登降園状況を保護者と共有できる体制を整えました。 〈課題〉大きな怪我や災害はないが、日常の幼児の小さな怪我の防止に心を配る。
特別支援教育	支援を必要とする園児にはその子が将来的に見て困らないよう友だちとの関係性を上手く築くことが出来るように支援します。市の巡回相談員の訪問指導や支援施設との連携を通して私たちも学習しています。
園に対する保護者の満足度	アンケートを通して保護者の園に対する要望、意見を集約し検討、分析することにより園に対する期待や満足度の向上を図ります。アンケートをWEBで行い回収率も上がりました。

6、学校関係者の評価

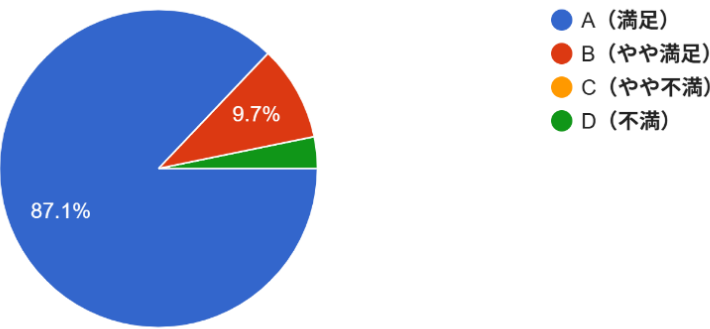
1・保育の在り方 園児への対応、安全管理の徹...、未就園児教室なかよし等)、行事の充実を図る。

31 件の回答



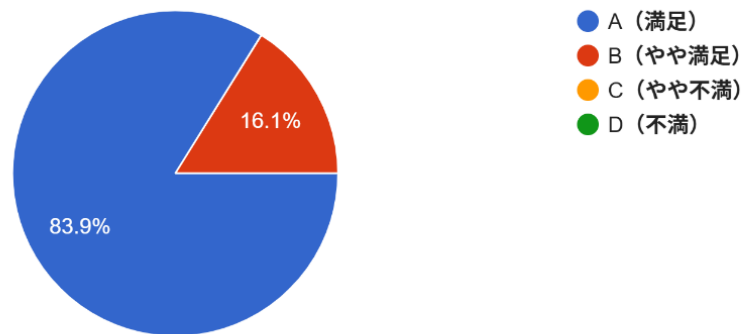
2・保育者としての資質 保育、教育専門家としての能力、姿勢、責任など資質向上を図る。

31 件の回答



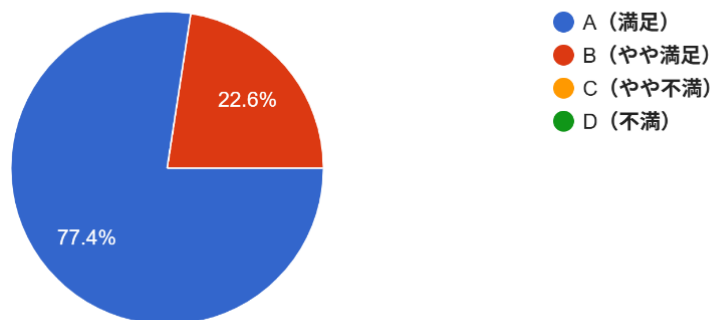
3・保護者への対応及び家庭との連携 園児に関...信、保護者からの要望や苦情に適切な対応を図る。

31 件の回答



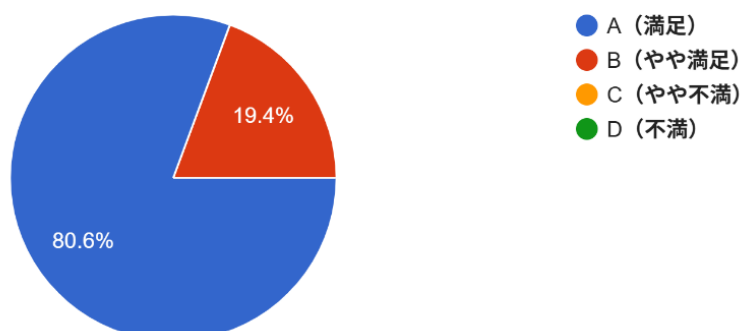
4・研修と研究 研修、研究を積極的に行い専門性を高める努力をする。

31 件の回答



5・情報公開 保育の現状等や自己点検・評価結...に園だより、HP等で情報公開をする努力をする。

31 件の回答



【良かった点】

- ・ インスタグラムで定期的に活動報告があり、子どもたちの生き生きとした様子が見られて嬉しい。他2名
- ・ お迎えに行った時に小さな怪我でもでも丁寧に対応してくれて様子がわかり嬉しい。他1名
- ・ 一人ひとりの性格、成長に合わせて見守り、対応して。他2名
- ・ 積極的に園外へ連れて行ってもらって子どもたちがいろいろな経験が出来、喜んでいる。
- ・ とても素敵な幼稚園なので、園児が増えるといいなと思う。

【改善を望む点】

- ・ インスタグラムの投稿頻度が少なく、もう少し更新して欲しい。
➡令和8年度より専用アプリを活用し、日々の保育の様子や子どもたち一人ひとりの成長を写真や動画とともに「ドキュメンテーション」「ポートフォリオ」として保護者の皆さまにお伝えする取り組みを始めました。園全体の活動を発信するインスタグラムに加え、日々の保育や一人ひとりの育ちをより身近に感じていただけるよう情報発信の方法を充実させています。
- ・ 園児の怪我に対する認識が楽観的で不安。
➡園児の怪我に対する認識についてのご指摘を真摯に受け止め、職員間で安全に対する共通認識を持てるよう、事故対策マニュアルの再確認と徹底を図ってまいります。
- ・ 特性に関わらず子どもに対しての関わり方を学ぶ姿勢が見られず残念だった。
➡こども一人ひとりの特性や発達への理解を深め、適切な関りや支援に繋がれるように専門の講師を招いた勉強会を実施する予定です。
- ・ 急な行事変更があり、それを1ヵ月前に知り、シフト調整が大変で職場に迷惑を掛けてしまった。せめて一か月前前に知らせてほしい。
➡年間行事予定表にはない自由参観日を増やしてしまった為、ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。今後は行事等の変更が生じた際には可能な限り早めに保護者の皆さまへお知らせできるよう努めてまいります。
- ・ 保護者アンケートで出た意見に対して根本的なことが改善されていない。聖劇に関しては子どもの練習負担が多い中、感染症も流行する時期なので毎年不安。
➡感染症が多く出るので12月の聖劇の時期を変えて欲しいという要望がありましたが、カトリック園として聖劇はイエス様の誕生を子どもたちと喜び、感謝する大切な教育活動と位置付けています。そのため、クリスマスの時期に合わせて実施することをご理解ください。感染症の流行については十分に配慮し、子どもたちの健康と安全に留意しながら行事を実施してまいります。

まとめ

全体的に「満足」「やや満足」の評価をいただきましたが、全ての方に「満足」をつけてもらえるように私たち職員も保育の質の向上を目指します。また、計画的に園内研修を取り入れながら保育者としてのスキルアップをはかり子どもたちが毎日楽しく期待を込めて登園できるような幼稚園でありたいと思います。